



2015年10月22日 第2210回例会
10月第4例会

RIテーマ Be a gift to the world

「世界へのプレゼントになろう」

本年度会長テーマ

「ロータリーを通して、互いに親しみ触れ合おう」

「経済と地域社会の発展月間」「米山月間」

◆ 会長時間 ◆

金本会長



今月10月24日は、公式に「世界ポリオデー」と定められています。これは、ポリオ・ワクチンを最初に開発した「ジョナス・ソーク博士（米国）」の誕生日（1914年

10月28日）に因み、国際ロータリーが10年以上前に設定したものです。

世界的なポリオ撲滅活動の進展を祝うロータリーの「世界ポリオデー」の特別イベント「歴史に1ページを刻もう」が、10月23日の午後6時30分（日本時間は24日午前7時30分）からニューヨークで開催されます。ユニセフと共同開催されるこのイベントには、世界ポリオ撲滅推進活動のパートナー団体、政府高官、ポリオ大使でユニセフ事務局長のアンソニー・レイク氏をはじめとする保険のエキスパートが列席し、3万人を超えるポリオ撲滅活動のサポーターが参加予定だそうです。この特別イベントはライブ中継され、ソーシャルメディア上で視聴が可能なほか、後日ビデオも用意されることになっています。

以上、ラビンドランRI会長から9月19日付で届いたメールよりご紹介しました。

続いて、ジョン・ヒューコRI事務総長から10

月3日付で届いたメールをご紹介します。

ジョン・ヒューコ事務総長は、他のロータリー職員及び世界各地から訪れるロータリアンとともに、来たる11月21日に米国アリゾナ州で開催される自転車レースに参加し、ポリオ撲滅のための募金に挑戦されるそうです。毎年9千人以上が参加し、約167キロのコースを走るこのレースは、米国でトップレベルの自転車レースの一つに数えられており、レースへの参加を応援して下さる方々から寄付を募るチャレンジとのこと。

因みにこのレースでの募金目標は、1,000万ドルだそうです。

本日の卓話は、一般財団法人ひろぎん経済研究所 理事 経済調査部長の谷口康雄様に「広島県内の若者の結婚観」と題してお話し頂きます。谷口様、後ほどよろしく願いいたします。

● 会務報告 梶本幹事

※広島市西部こども療育センター「なぎさ園」への電動車いす寄贈事業がマスコミ報道されています。（掲載記事を最終面に掲載しています。）

※他クラブ例会臨時変更

11月 2日(月) 広島東南RC 休会

11月11日(水) 広島東RC 職場訪問例会

11月24日(火) 広島安芸RC 職場訪問例会

※本日は100万ドルの食事となっております。

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 中岡委員

本日(10月22日・木曜日)

会員数 82名 出席者 68名

欠席者 14名 ご来客 2名

ご来賓 1名 ゲスト 0名

計 71名

前々回(10月8日・木曜日)

出席率 100%



※ 親睦活動委員会 柴田委員長

12月家族同伴クリスマス夜間例会のアトラクションの内容、景品等の数、内容に反映させたいと思いますのでアンケートのご協力をお願いいたします。

※ プログラム・出席委員会 小田委員長

地区大会の交通手段等のご連絡を参加される方のBOXに入れております。

※ IM実行委員会 香川(基)委員長

例会終了後、4階「カメラ」において第1回IM実行委員会を開催いたしますので、実行委員会正副委員長は出席願います。

● 同好会報告

🎮 紫雀会 鈴木世話人

紫雀会10月例会のご報告

紫雀会10月例会は、10月22日木曜日庚午クラブで、いつものように、おとなりのそば吉で食事をとってからのスタートとなりました。

優勝は、先月から復活しました木本さんが、好調をキープされ先月に続き安定した麻雀で連覇を達成されました。木本さんの再入会で、紫雀会も一段とにぎやかになった様に思えます。

準優勝は小橋さん。低位置からネバリの麻雀で、上位入賞を果たされました。3位は上位キープの岡野さんです。

このところ鼻息荒かった片山さんは、残念ながら今回も頭はとれませんでした…。

次回例会は11月19日木曜日、庚午クラブです。奮ってのご参加、お願い致します。

● 会員記念日

🗓️ ご入会記念月おめでとうございます。

(9名)

大本君 (H 4年) 森信君 (H 6年)

宮崎君 (H 6年) 教蓮君 (H 6年)

笹野君 (H 8年) 木村君 (H11年)

土井君 (H11年) 中岡君 (H13年)

新原君 (H13年)

🌸 創業月おめでとうございます。

(8名)

野嶋君 住友生命保険(相)広島総支社

穴戸君 東雲自動車(株)

小島君 (株)栗本ホールディングス

諏訪(昭登)君 (株)諏訪

諏訪(昭浩)君 (株)諏訪

鈴木君 プルデンシャル生命保険広島支社

井下君 アムス・インターナショナル(株)広島支社

片山(常)君 (株)日立ビルシステム中国支社

● スマイルボックス SAA 大本委員

😊 柴田君 (自主申告・トルプル)

先週、例会を休みましたので、1週間遅れの自主申告をさせていただきます。紫友会の10月例会は9月に続いてなんと！2連覇をさせていただきました。しかも、生涯自己ベストの84を出すことも出来、二重の喜びです。80台前半のゴルフの風景があんなにも良いことが初めてわかりました。調子にのって「上田さんの背中が見えた」と暴言とも言える失言をしましたので「スマンBOX」と合せて出宝させていただきます。

😊 田中君 (自主申告)

10月18日東京湾三浦半島沖で実施された、海上自衛隊の観艦式に参加しました。私は潜水艦救難艦「ちはや」の船上から観閲を受ける艦船・潜水艦・護衛艦約40隻と海上自衛隊航空部隊の爆弾投下・航空自衛隊インパルス DEMO 飛行を見学しました。迫力があり、また戦艦や航空隊の一糸乱れぬ航行や編隊を目の前にし、日本の海を守ってくれているということを実感しました。また自衛隊員の礼儀正しく統制のとれた言動にも感動しました。

紫雀会10月例会

優勝 木本君 ダブル
準優勝 小橋君
3位 岡野君

卓話

広島県内の若者の結婚観
(アンケート調査から)

一般財団法人ひろぎん経済研究所
理事 調査部長 谷口 康雄氏



広島県内若者の結婚に関する
アンケート調査(独身者向け)
要旨

近時、若者の未婚化・晩婚化が進んでいます。そこで当研究所では、県内各市町の20～39歳の男性・女性に対し、結婚観等に関するアンケート調査を実施しましたので主な内容をご紹介します。

- ①広島県内の独身男女の「結婚に対する考え方」は「いずれ結婚するつもり」の男性が48%、女性が61%で「一生結婚するつもりはない」男性が10%、女性が6%であった。ただし、まだ結婚をあまり意識していない層も男性4割、女性3割みられた。
- ②結婚に「利点があると思う」男女は7割前後と高い水準にあるが、それ以上に現在の独身生活に利点を感じているようである。
- ③結婚までのハードルは、男女とも結婚資金や結婚後の生活資金など経済的な理由が高い。また独身にとどまっている理由のうち、「結婚できない理由」としては、男女とも「適当な相手に巡り合わない」がトップ、「結婚しない理由」では「自由さや気楽さを失いたくない」がトップとなっている。
- ④「交際している異性はいない」割合が、男性で全体の約4分の3、女性で約3分の2と高い。一方で「交際を望んでいる」割合が男女ともに4割を超えていることは、交際相手がいれば結婚に発展する可能性がある程度考えられることから、出会いの場の提供が婚姻件数を伸ばす

有効な方策となり得るとみられる。

- ⑤女性の「理想の生き方」と「実際になりそうな生き方」にはギャップがみられた。特に「結婚せず、仕事を一生続ける」は理想：11%→実際：34%と、理想と現実の違いを大きく感じていることが見受けられる。
- ⑥居住市町の結婚支援対策の認知度は低く、支援策の周知とともに、ニーズにあった内容の充実や工夫が求められている。
- ⑦晩婚化・未婚化の歯止めに必要な対策について、子育てに係る経済的支援や仕事と家庭の両立支援が挙げられている。



例会風景

卓話予告

日時	テーマ
11/5(木)	ロータリー財団委員会 強調プログラム

電動車いす1台を寄贈 こども療育センターへ

広島西ロータリークラブ



広島西ロータリークラブの金本善行会長（右から2人目）らが広島市西部こども療育センターを訪れ、電動車いすを贈呈した

【佐伯区】多彩な職種のメンバーで地域に奉仕活動をする広島西ロータリークラブ（金本善行会長）が7日、広島市西部こども療育センター（同市佐伯区海老山南2丁目）に電動車いす1台を寄贈した。贈呈式で早速、施設を利用する子どもが座り1人でレバーを操

作し、見守る園児や保護者の前を走り拍手と歓声に包まれた。同センターは、同市佐伯区・西区・安佐南区沼田地区に住む就学前の知的障害児・身体不自由児が通う通園施設部門「なぎさ園」や、外来診察などがある。電動車いすは、同様の機能のあるEカート1台を有していた。「子どもが生き生きと動きのある遊びができる」と好評で、追加導入を望んでいた。行政を通じ、同ロータリークラブから5割の資金援助を得て、地区補助金で残りを補い寄贈してもらった。贈呈式では、金本会長が「有効活用して、充実した日々を過ごしてください」とあいさつ。なぎさ園の小川裕子園長は「しっかり活

用し、子どもたちの可能性を広げていきたい」と感謝した。当日同園では、誕生日の園児を祝う会があった。ロータリークラブの11人と広島修道大学広島鈴峯女子中・高校ボランティアグループ「インターアクトクラブ」の3人も一緒に祝った。電動車いすの試乗も、走る様子を見て喜びにぎわった。

西広島タイムス（平成27年10月16日）より転載

療育センターに
電動車いす贈る
広島西RC



小川裕子園長（右）に見守られ電動車いすに試乗する真菜果ちゃん

広島西ロータリークラブ（RC）は7日、障害のある子どもたちが通う広島市佐伯区の市西部こども療育センター「なぎさ園」に、子ども用電動車いす1台を贈った。

同園に通う71人のうち14人は体が不自由でも動かせる電動車いすを求めていることを知り、寄贈を決めた。

長が「車いすを使って子どもたちが充実した療育生活を送れるよう祈っています」とあいさつ。年長の北真菜果ちゃん（6）は「21日市市IIが園児を代表して試乗した。真菜果ちゃんは「車いすでたくさん散歩したい」と喜んで

地域・環境委員会（井下委員長）の行なった広島市西部こども療育センター「なぎさ園」支援事業 電動車いす寄贈が中国新聞と西広島タイムスで紹介されました。又、10月25日の地区大会では、広報活動としてこの事業がパネル展示されます。

（地区大会関係は次号掲載予定）

中国新聞（平成27年10月8日）より転載

広島西RC 検索

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 金本 善行
幹事 梶本 政明

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrcc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会